

第91回生命科学先端研究支援ユニット 学術セミナー

日時：平成28年12月16日(金) 午後5時から
場所：杉谷キャンパス薬学部研究棟II 7階セミナー室7
講師：續 輝久 先生 (九州大学大学院医学研究院・教授)
演題：「疾患モデルマウスを用いた研究：酸化ストレス誘
発発がんの抑制に関する分子機構の解明」

内容

生体を取り巻く様々な環境要因により、DNAやヌクレオチドの酸化が引き起こされ、これらの酸化DNA損傷は、自然発がんを含む老化と関連した様々な変性疾患の原因ともなることが明らかになってきている。生体はこれらの酸化DNA損傷を防止・修復する酵素系を有し、突然変異の発生を低いレベルに抑えている。種々の酸化DNA損傷の中で、グアニン残基の酸化型である8-オキシグアニン(8-oxoG)は、発生頻度が高いこと、また本来の対合相手であるシトシンとほぼ同じ頻度でアデニンと誤対合を形成し突然変異を引き起こすことから注目されてきた。酸化DNA損傷に起因する大腸発がんを考えるヒントとしてDNA修復系の遺伝子欠損マウスを用いた消化管発がんに関する研究の概要を紹介する。これら酸化DNA損傷に起因する突然変異の抑制系の遺伝子改変マウスを用いた研究により、ヒトの発がん抑制に関わる分子機構の解明が進むことで、今後のがん治療・発がん予防に向けた研究が期待される。

※本セミナーは「平成28年度富山大学学長裁量経費支援事業」として開催します。また、大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、さらにユニットの放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

庄司美樹 (アイソトープ実験施設長)

電話：076-434-7190

メール：shojim@cts.u-toyama.ac.jp



富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター
生命科学先端研究支援ユニット